

#### 高円寺の千代田村

高円寺や和田には、昔、いろいろな字名がありました。今はその大部分は人々の記憶から忘れられてしまったようです。

ここにとり上げた千代田村は字名でも村名でもなく、この地域に住んだ人々のお務めから来た、ちよっとした珍しいものです。前置きは、このくらいにして、この千代田村というのは、今の高円寺二丁目、の最西端、高円寺商店街へ出る一つ手前の南北を走る道路の両側を人々をこのように呼んでいました。

千代田村の地名語源は、千代田区千代田城、つまり千代田宮城から出たものだと思います。お判りだと思います。「そうです」皇居にお務めの職員に居住地を、ほかの地と区別して尊敬の意から名付けたものです。

大正十二年九月、関東大震災の時、すでに建築中であったことであ

十年からの歴史があります。この震災後、閑静な森や畠の多い郊外杉並町に二十余世帯の家族が移り住みま

雅楽、大膳、掌典など各部や侍医などの方々に、一般にはその敷地も広さも百坪位でした。が、高等官などの官位が高い方は二百坪以上と差がついていたようです。

この向後さんは元侍医でしたが、葬儀の時は、常陸宮ご夫婦も弔問にお成りになったそうです。

戦後「千代田村会」をつくり親睦を計っていました。が、それも数年前になくなり、宮内庁へ務めている方もほとんどなく、通称「千代田村」のみがかつての歴史を伝えていません。

